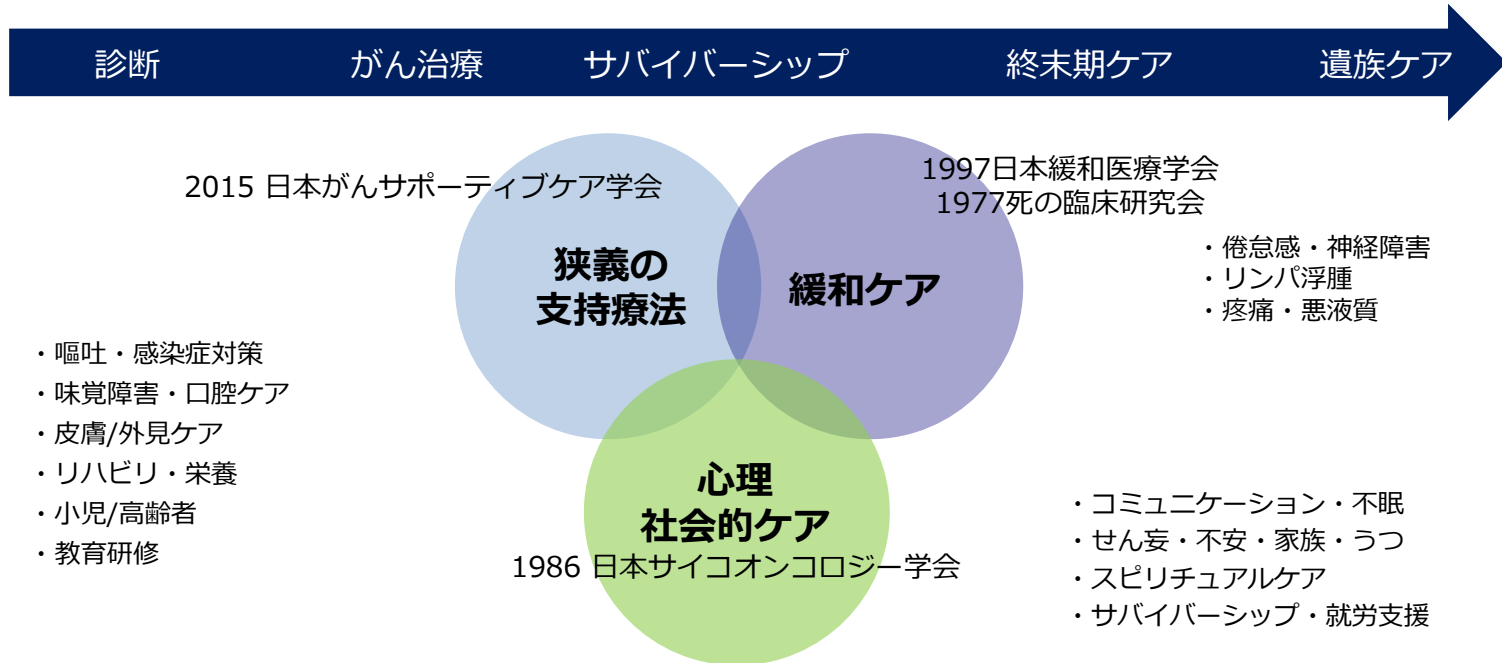


日本がん支持療法研究グループ J-SUPPORTの紹介

代表

国立がん研究センター
中央病院 支持療法開発部門
社会と健康研究センター
内富庸介

支持療法とは



国際がん支持療法学会の定義

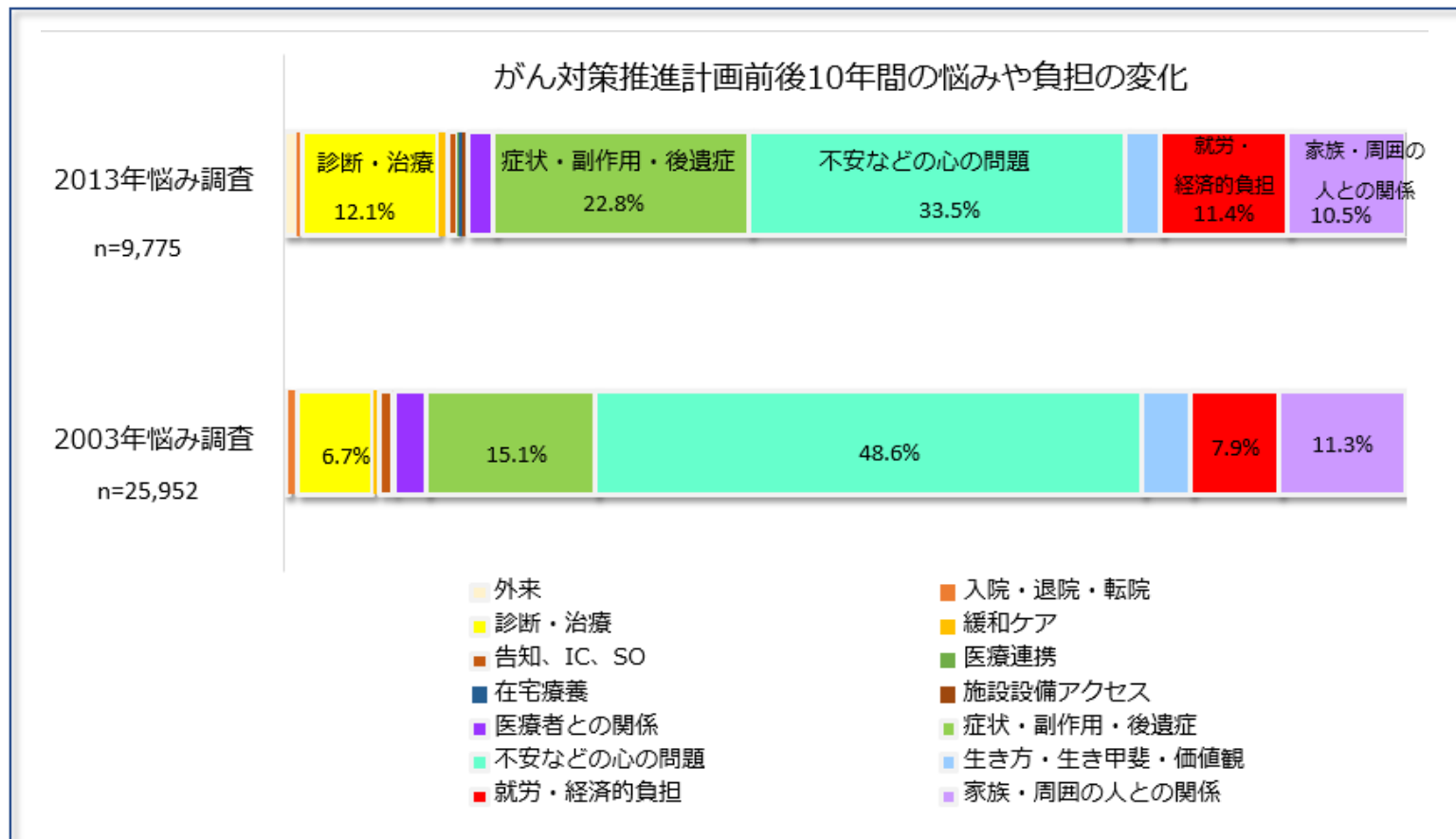
(2008) The Multinational Association of Supportive Care in Cancer (MASCC)

がんの症状・がん治療の副作用の予防と管理を行う。これには、がんの診断・治療・リハビリ・終末期ケアの全経過の身体的および心理的な症状や副作用の管理が含まれる。リハビリの強化、二次がんの予防、サバイバーシップ、終末期ケアは、支持療法に不可欠である。

→がん診断時から終末期まで生活・人生の質（QOL）の向上を目指す。

課題：がん患者の生活・人生の質

【がんサバイバーの悩み・負担を自己評価】



2013 がん体験者の悩みや負担等に関する実態調査 概要報告資料 がんと向き合った4,054 人の声
2015 年9 月8 日 静岡がん会議サテライトフォーラム第1 部配付資料 作成「がんの社会学」に関する研究グループ
山口建、石川睦弓(静岡県立静岡がんセンター)

→がん診断時から1.不安、2.副作用対策、3.ソーシャル、4.診療の相談

がん治療に関連する研究領域

吐き気

脱毛

医療機器

アプリ

新規
開発

支持
緩和

呼吸困難感

痛み・しびれ

e-PRO

方法
論



J-SUPPORT
Japan Supportive, Palliative and
Psychosocial Oncology Group

心理
社会

不安

運動

全国がん登録

診療情報

サーベイ
ランス

普及
と
実装

ワクチン

検診

禁煙

J-SUPPORTの紹介

支持療法とは

支持療法：がん治療の副作用を減らす治療

supportive care for side-effects induced by cancer treatment

がん治療※で発生する有害事象に対して予防もしくは症状軽減を目的として行う治療

緩和治療：がんの症状を和らげる治療

palliative care for cancer-induced symptoms

腫瘍によって生じた苦痛や症状に対して予防もしくは症状緩和を目的として行う治療

※がん治療について

上記で示したがん治療とは、直接腫瘍に働きかける抗腫瘍効果を目的とした治療、すなわち、外科治療、がん薬物療法、放射線治療を指しており、頻繁に間違われる抗がん剤治療と区別しています。

J-SUPPORT

(2016年2月19日創設)

日本がん支持療法研究グループ

Japan **Supportive**, Palliative and Psychosocial Oncology Group

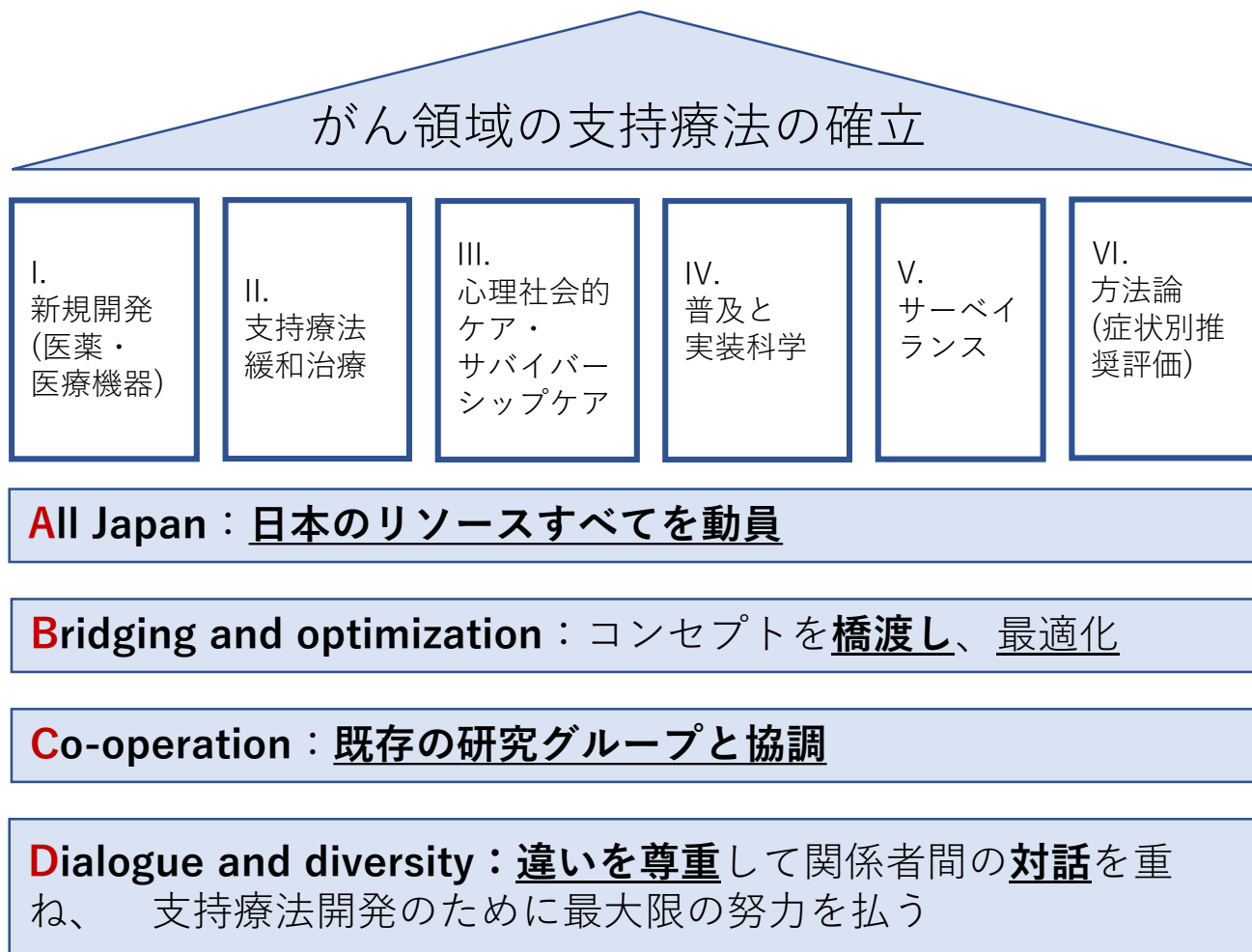
【ミッション】 がん領域の支持療法の確立に向けて 質の高いエビデンス作りとその支援

- エビデンスを確実に創る：研究**専門**領域を設定
- エビデンスをより早く：恒常的な多施設臨床試験体制を構築
- 優先度の高い課題から：患者・市民参画、開発戦略を設定
- 研究方法を確立：研究**ポリシー**の作成
- 新研究領域を開拓：実装科学研究、サーベイランス研究
(がん登録、ビッグデータの活用)

国立がん研究センター研究開発費
「支持療法の開発および検証のための基盤整備」
(27-A-3; 30-A-11)

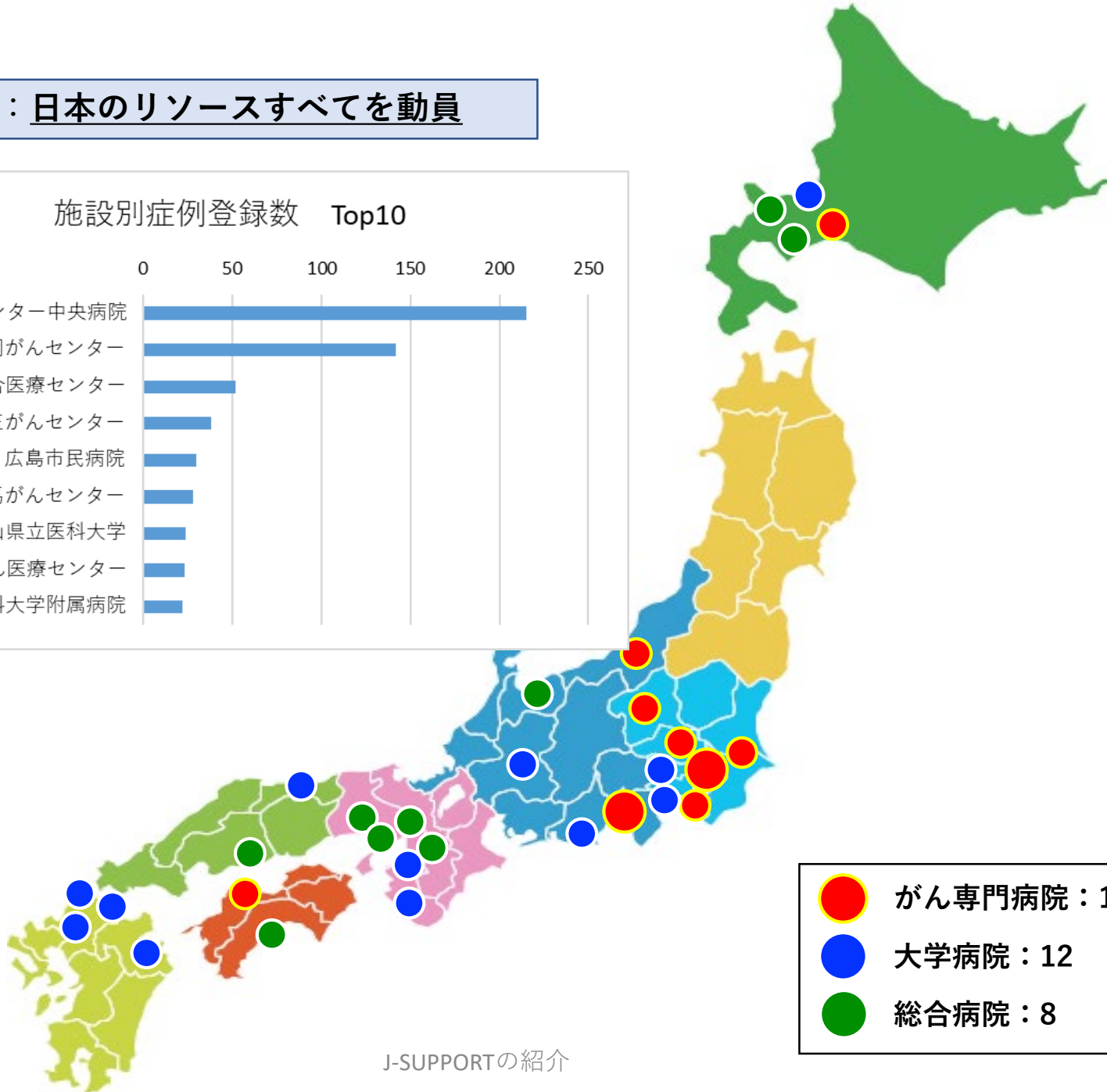
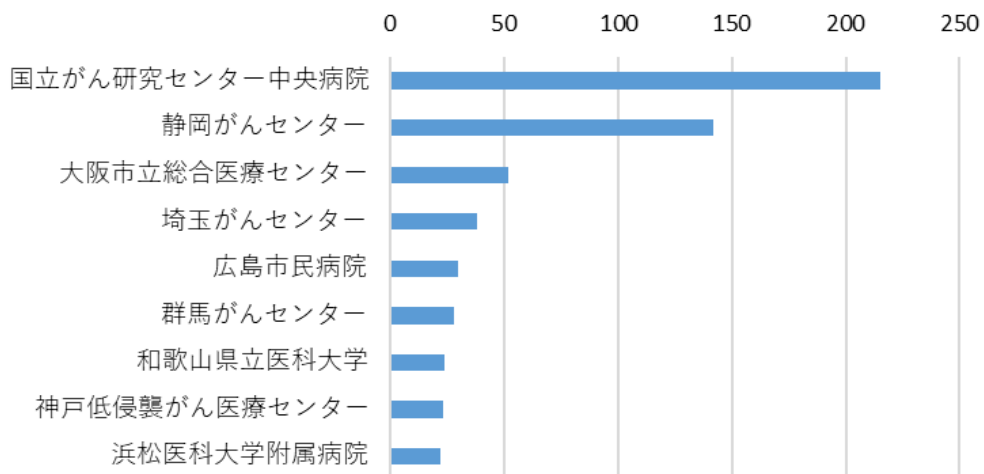


J-SUPPORT目的・活動目標・基本方針



All Japan : 日本のリソースすべてを動員

施設別症例登録数 Top10



- がん専門病院 : 10
- 大学病院 : 12
- 総合病院 : 8

Bridging and optimization : コンセプトを橋渡し最適化

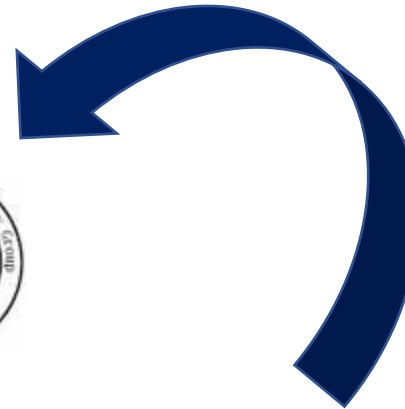
Co-operation : 既存の研究グループと協調

Support Care Cancer (2016) 24:675–682
DOI 10.1007/s00520-015-2829-z



ORIGINAL ARTICLE

Efficacy and safety of olanzapine combined with aprepitant, palonosetron, and dexamethasone for preventing nausea and vomiting induced by cisplatin-based chemotherapy in gynecological cancer: KCOG-G1301 phase II trial



Masakazu Abe¹ · Yasuyuki Hirashima¹ · Yuka Kasamatsu¹ · Nobuhiro Kado¹ · Satomi Komeda¹ · Shiho Kuji¹ · Aki Tanaka¹ · Nobutaka Takahashi¹ · Munetaka Takekuma¹ · Hanako Hihara² · Yoshikazu Ichikawa² · Yui Itonaga³ · Tomoko Hirakawa³ · Kaei Nasu³ · Kanoko Miyagi⁴ · Junko Murakami⁴ · Kimihiko Ito⁴

Int J Clin Oncol (2018) 23:382–388
<https://doi.org/10.1007/s10147-017-1200-4>



ORIGINAL ARTICLE

A double-blind randomized phase II dose-finding study of olanzapine 10 mg or 5 mg for the prophylaxis of emesis induced by highly emetogenic cisplatin-based chemotherapy

Takako Yanai¹ · Satoru Iwasa² · Hironobu Hashimoto¹ · Fumiyoshi Ohyanagi³ · Tomomi Takiguchi⁴ · Koji Takeda⁵ · Masahiko Nakao⁶ · Hiroshi Sakai⁷ · Toshiaki Nakayama⁸ · Koichi Minato⁹ · Takahiro Arai¹⁰ · Kenichi Suzuki⁴ · Yasuhiro Shimada¹¹ · Kengo Nagashima¹² · Hiroyuki Terakado¹ · Noboru Yamamoto²



Dialogue and diversity : 違いを尊重して関係者間の対話を重ねる



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development



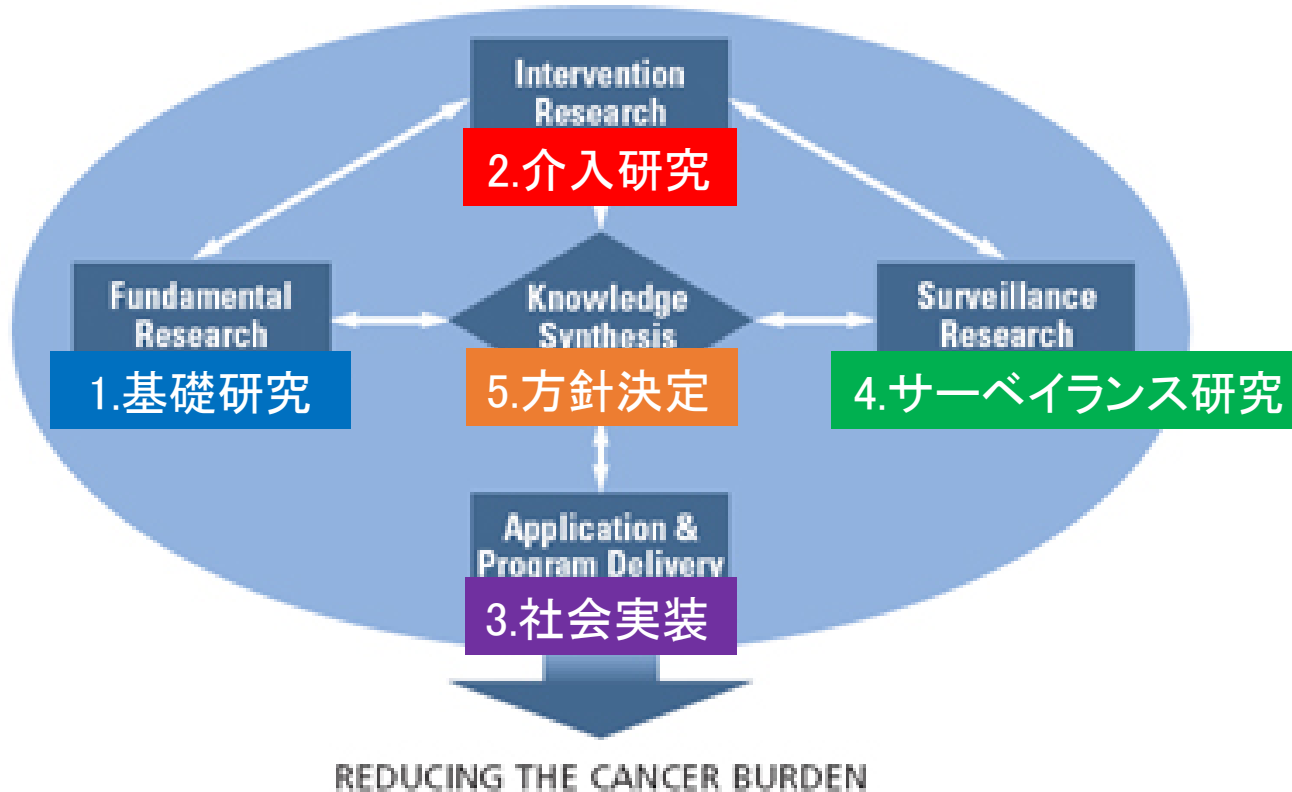
一般社団法人

日本がんサポーターティブケア学会
Japanese Association of Supportive Care in Cancer

J-SUPPORTの紹介

がん対策の枠組み

Cancer Control Framework and Synthesis Rationale
Cancer Control Research Activities

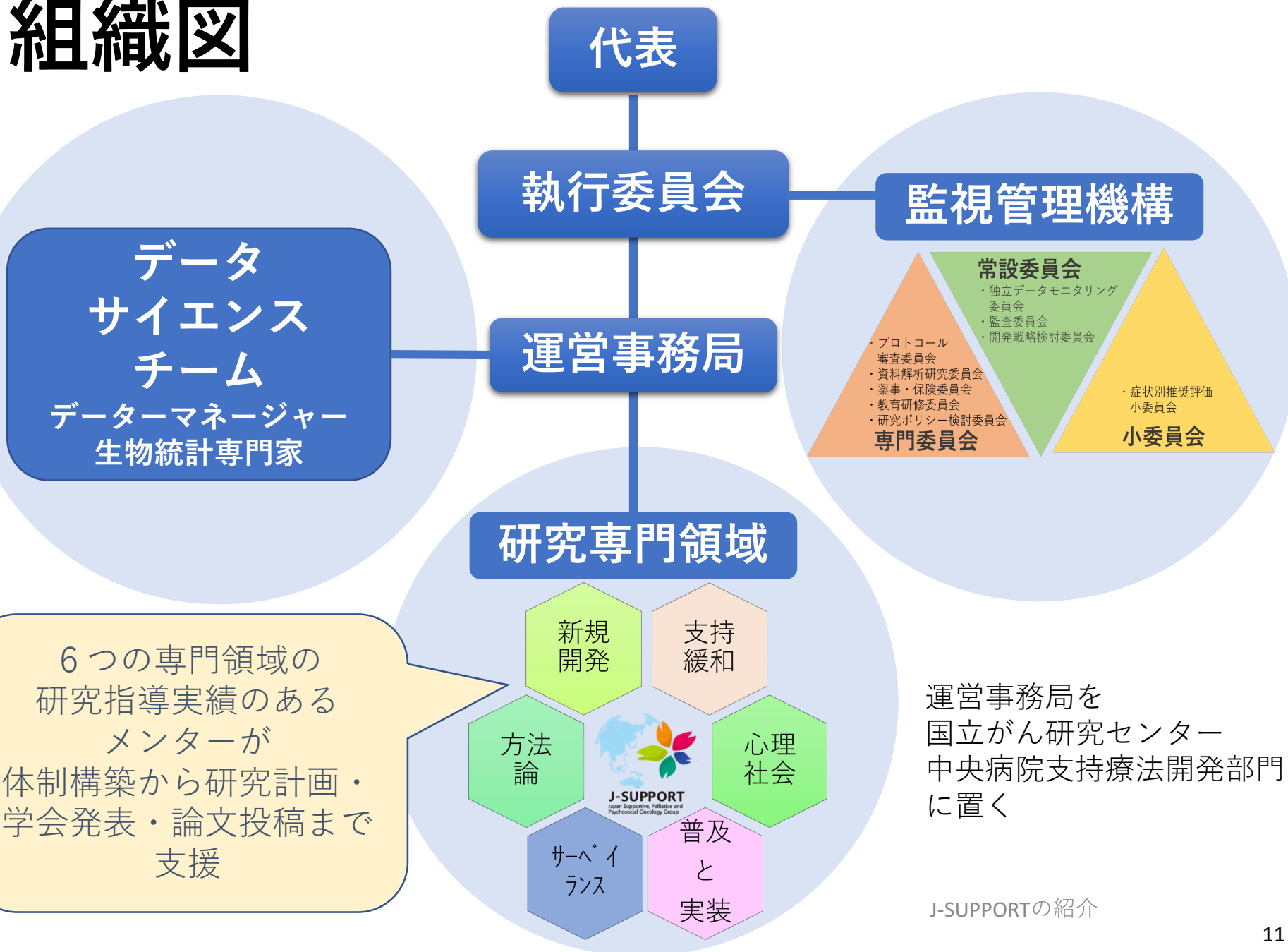


1994年のカナダのがん対策を元に、米国NCIが、がん対策の枠組みを発表した。新たに、サーベイランスを強化してがん対策に反映するところが新しい。

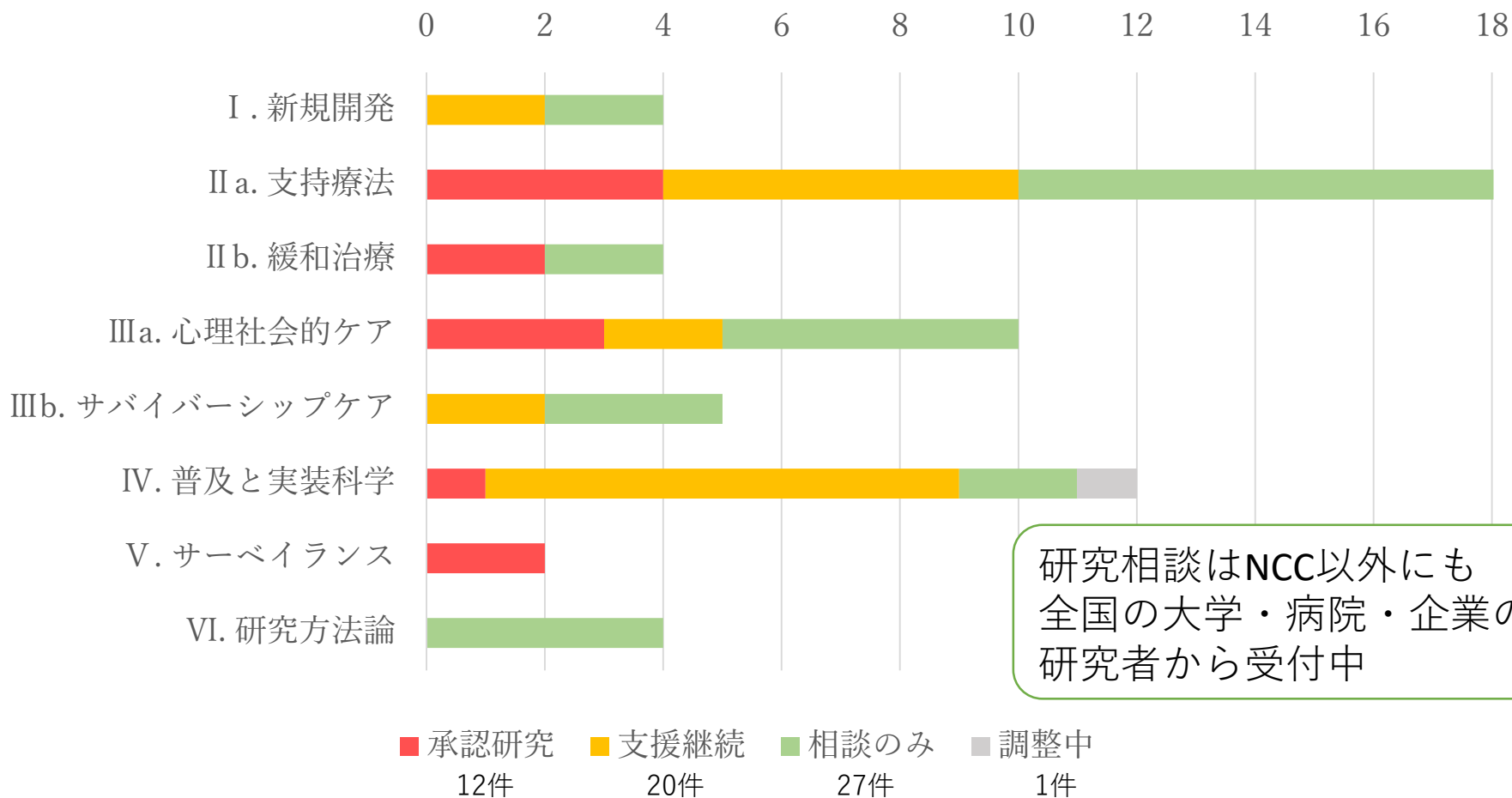
*Adapted from the 1994 Advisory Committee on Cancer Control, National Cancer Institute of **Canada***

J-SUPPORTの紹介

組織図



相談件数 総計60件 (2019年11月30日現在)



研究相談はNCC以外にも
全国の大学・病院・企業の
研究者から受付中

2016年2月～2019年11月で、12件（20%）を承認した。
20件（33%）は支援継続中、27件（45%）は1回の相談のみで終了となっ
た。

承認研究一覽(2019年11月30日現在)

番号	研究代表者	事務局	課題名	施設数	参加者数
1601	森雅紀 (聖隷三方原Hp)	松岡豊 (NCC社会健康)	今後の見通しについての医師からの望ましい説明	1	105/105
1602	全田貞幹 (NCC東)	横田知哉 (静岡CC)	放射線皮膚炎に対するステロイド外用薬の効果	8	211/210
1603	松本禎久 (NCC東)	沖崎歩 (NCC東)	進行がん患者に対する早期からの 専門的緩和ケア介入	2	204/206
1604	安部正和 (静岡CC)	橋本浩伸 (NCC中央)	化学療法誘発性悪心・嘔吐の予防に対する オランザピン併用効果	31	697/690
1605	清水研 (NCC中央)	和田佐保 (NCC中央)	がん患者の周術期精神症状に対する抑肝散の効果	1	195/220
1701	柳朝子 (NCC中央)	柳朝子 (NCC中央)	マルチキナーゼ阻害薬の手足症候群に対する 予防的看護ケア	1	20/50
1702	佐藤一樹 (名古屋大)	佐藤一樹 (名古屋大)	医療ビッグデータを用いた緩和医療の質評価	-	-
1703	明智龍男 (名古屋市立大)	内田恵 (名古屋市立大)	乳がん患者の再発不安・恐怖に対するアプリ介入	Web	279/444
1704	藤森麻衣子 (NCC社会健康)	佐藤綾子 (NCC社会健康)	進行がん患者・家族と医師の 共感的コミュニケーション支援プログラム介入	4	127/360
1901	山田了士 (岡山大)	藤原雅樹 (岡山大)	精神科臨床場面におけるがん検診の受診推奨法 の普及と実装研究	2	172/172
1902	藤森麻衣子 (NCC社会健康)	原島沙季 (NCC社会健康)	全国がん登録を用いたがん患者の自殺の調査	-	-
1903	曾根美雪 (NCC中央)	荒井保典 (NCC東)	有痛性骨腫瘍に対する球状塞栓物質を用いた 動脈塞栓療法の疼痛緩和効果	-	-

J-SUPPORT承認研究の マイルストーンと所要期間

